

資料群番号	資料番号	枝番	西暦年	元号	和暦年	月	日	資料名・宛先←差出(作成者)	内容	形態
140	7	4	1665	寛文	5	10	12	(茶立船着船の時の定め) 横町・呉服町←雪吹藤兵衛外	茶立船今町浦に着船したら高田4分の3、今町4分の1買い取ること外、写本	一紙
140	13	3	1701	元弘	14	8	0	「条々」(宛欠)←能登	(写)「能登」は高田藩主戸田能登守	一紙
140	8	1	1709	宝永	6	12	24	「一札」御奉行所←横町留女宿茂右衛門外	御家中の衆、小者・中間に至るまで立ち寄せないこと誓約	一紙
140	13	7	1717	享保	2	6	0	「覚」	上下船場揚げの荷物1駄賃銭増額のこと(写)	一紙
140	9	1	1721	享保	6	2	4	「相極申証文之事」治兵衛外10名連印	留女につき、近頃みだり、以後は1軒に1人だけ抱え置くこと	一紙
140	13	8	1724	享保	9	2	0	(荒川大橋下東回米船場御料所米の件)	川東美濃部勘右衛門・小野惣左衛門支配地の村々より附出す諸払米に馬借ども差障らざること留書	綴
140	10	1	1756	宝暦	6	6	0	(横町留女につき旅籠屋連印請書断片)(宛先欠)←喜左衛門外18名	(前欠)留女につき他より株を借り3人までは抱えられる、しかし4人を抱えることは決してしない	一紙
140	11	1	1757	宝暦	7	5	0	「横町旅籠屋留女御尋ニ付奉申上候」喜左衛門外17人	横町留女の始まり、現在の状況等を説明、奥に町会所との折渉に関し付紙	一紙
140	7	3	1771	明和	8	3	21	(往来浪人出家六部取締り)	旅籠屋でゆすりなどあれば申し出よ、笈を持たない六部の徘徊は以ての外	一紙
140	12	1	1812	文化	9	0	0	「横町留女一件控」名主吉田喜左衛門	享保6年・宝暦6.7年・安永5年・文化9年など留女に関する書類の留書	綴
140	20	1	1846	弘化	3	3	0	「送り一札之事」高田中屋敷町兼帯名主中沢治左衛門←円平坊村親三左衛門	当村三左衛門妹とのを直江町仙七方に縁付けること	一紙
140	2	2	1913	大正	2	1	2	(書状)山本道兄大宗師←無外	年頭にあたり貴意を伺う、無外は時宗藤沢清浄光寺住職	一紙
140	18	1	0	壬	0	7	1	(書状)吉田五左衛門←西沢藤作	稲田町忠右衛門に関する願書の下書を届けるのでそちらで遠慮なく加筆して提出されたい「西沢」は関町名主	一紙
140	16	1	0	卯	0	7	27	(口上書)符古町問屋←岩野郷蔵惣代	稲田町忠右衛門への売渡しの岩野蔵よりの払い米にその町の碁右衛門が妨害したのは不当、米を返せ	一紙
140	13	2	0	巳	0	12	22	「役人馬触出シ之覚」		一紙
140	13	5	0	午	0	5	0	「覚」	馬に過重な荷を付けぬこと、病馬、いたみ、馬いたわるべきこと(写)	一紙
140	13	6	0	午	0	8	7	「覚」	松平加賀守・大蔵太輔高田領往來の節の継人馬不足の対策について(写)	一紙
140	13	4	0	未	0	8	13	「覚」(宛欠)←役所	御金荷物通行の際の馬のこと(写)	一紙
140	2	1	0	不明	0	0	0	(封筒)林神岳←高田市教育委員会	(2-2~3)を入れる	封筒
140	2	3	0	不明	0	0	0	(書状翻訳写)	(2-2)を翻訳、便箋にペンで記す	一紙
140	5	2	0	不明	0	0	0	(書状翻刻写)	(5-1)の書状を翻刻、便箋にペンで記す	一紙
140	7	1	0	不明	0	0	0	(袋上書)「旅籠屋江被仰渡御書附入」		袋

140	7	2	0	不明	0	0	0	(包紙上書)「書附」横町旅籠屋共	本来は文化9年11月の留女冥加金の町奉行所書附が入っていた、本紙は見えず(11-1)に写あり	包紙
140	13	1	0	不明	0	0	0	(袋上書)「御条目」		袋
140	14	1	0	不明	0	0	0	(米穀荷物上前銭取りの仕来上申書)	伝馬宿3町では幕領の回米川下げには差し障らない、払米の時は米の買主より上前銭をとる(写)	一紙
140	17	1	0	不明	0	0	0	「奉願口上」	稲田町忠右衛門が買請けた岩野米は御料所払米にみせかけた偽せ米、上前銭をとったのは正当(下書)	一紙
140	19	1	0	不明	0	0	0	「覚」	子・寅年5月出立の戸田能登守の御用人馬辰4月出立の人馬の高田宿と郷中の分担	一紙
140	5	3	0	不明	0	0	23	(添書)森成←三郎	松平肥前守斉正書状(5-1)に添えたもの	用箋
140	5	1	0	不明	0	1	21	(松平肥前守斉正書状)榊原式部大輔←松平肥前守	年頭祝詞返書、松平肥前守斉正は幕末の肥前佐賀藩主	一紙
140	6	1	0	不明	0	1	29	(本多豊後守助受書状)瑞泉寺←本豊後守	年頭祝詞に対する答礼書、本多助受は信濃飯山城主(封筒共)	一紙
140	4	1	0	不明	0	5	5	(書状)室直助←本居稻楠豊頼	鈴鹿木像に添える拙文愚筆無事落手したか、内容から元治元年(1864)、稻楠は国学者秋之舎主(封共)	一紙
140	3	1	0	不明	0	6	7	(牧野佐渡守親戚書状)堀三郎兵衛←牧佐渡守	九条前摂政姫君道中警固役無事終わったことを祝す、牧野親戚は丹後田辺城主	一紙
140	15	1	0	不明	0	6	13	(書状)水野利兵衛外←高戸理太夫外	御代官所附村々より荒川船場上前銭取立につき願出しが出たこと対策(写)	一紙